

全従業員が参加するヒヤリハット改善と リスクアセスメントの取組み

(株)最上インクス
栗林修二

当社は京都市右京区に本社を置き、薄板金属加工を中心に 60 年以上の歴史を持つ。半世紀以上に渡り、金属加工業を営むなかで「安全」というキーワードで社内改善活動を継続してきた。近年では安全装置が付加された機械が増え、工場内での怪我や事故リスクは低減されているものの、「軽微な怪我」といったレベルの事象はなくなってい

ない。そうしたなかで、当社では「作業者の正しい仕事の仕方」や「現場環境のあるべき姿」に着目し、「安全衛生委員会」を設置して作業改善を取り進めている。

プレス加工業界の安全対策の現状

プレス加工業界において、労働災害防止対策という名のもと、「事故がおこり、事故原因を究明し、その対策を講じるスタイル」から「未然防止活動（リスクアセスメント活動）」の推進が主流となっている。また、工場内での事故防止として設備への安全センサ設置の義務付けなど機械的にも事故を防ぐ機構が付加されている昨今では、「あかちん怪我」の撲滅や「より安全に」といった観点で、わずかでも危険の可能性のある部分には改善の手を入れて行くことに意識的に取り組んでいる企業も増えている。当社でもプレス作業現場のリスクアセスメント活動を続けるなかで、経営層から一般社員まで、安全なプレス加工の重要性、安全第一という意識が形成されてきた。

安全衛生委員会の活動内容

当社は安全衛生委員会を 2010 年 4 月に発足させて、月 1 回の安全衛生活動会議を継続して開催している。委員会メンバーは安全衛生管理者を筆頭に各製造部のリーダー層を主に形成している（図 1）。

委員会発足時では管理系メンバー主体で構成された組織であったが、各製造グループのリーダー

2014年度 安全衛生管理体制

SAIJO

総括安全衛生管理者：栗林修二
(兼安全衛生委員)

安全管理者(兼安全衛生委員)：安岡益男、瀬島吉浩

衛生管理者(兼安全衛生委員)：日置泰史

産業医(兼安全衛生委員)：宮崎忠芳

安全衛生推進者：上田真理、森田小織
(兼安全衛生委員)

安全衛生委員：井原隆史、谷崎巧
柿川 竜、池田奈央子、高橋由行

図 1 最上インクスにおける安全衛生管理体制

* (くりばやし しゅうじ)：管理統括グループ長、安全衛生管理責任者

TEL：075-312-8775 FAX：075-312-0041

会社概要

所在地：〒615-0034 京都市右京区西院西寿町 5

設立：1965 年

売上高：21 億 6,000 万円

従業員数：99 名 (グループ総数 138 名)

事業内容：電機・電子部品、通信機器、車載電装、分析機器の開発・精密薄板試作加工・試作成形加工・精密量産プレス加工・精密金型の製作